



8月のほけんだより

令和2年7月30日

しんあい保育園 看護師

暑い夏が到来！！子ども達は、汗びっしょりになって遊んでいます。今年は、梅雨の時期が長いように感じますが、天気の良い時にはプールやシャワーと夏を楽しんでいます。新型コロナウイルス感染症だけでなく、夏の感染症も気になる時期ですが、予防はしつつ暑い夏を楽しみましょう！！

◆下痢の流行について◆

7月下旬より、いちご組に下痢の症状の子どもが増えています。小さな子どもは免疫機能が低く、すぐに感染してしまいます。下痢がおさまっても1ヶ月くらいは便の中には菌やウイルスが排泄されています。下痢の時の食事や水分摂取の仕方などわからないことがあったら職員に声をおかけください。

***しっかり手洗いをしましょう。**

◆夏に気をつけたい皮膚の病気◆

①虫刺され

- ①蚊：個人差がありますが、皮膚アレルギー反応を起こし、かゆみが出たり赤く腫れることがあります。
- 処置：◎すぐに刺された部分を水で洗い流し、清潔にする。
- ◎かゆいところは流水や、氷で冷やすとかゆみがやわらぐ。
- 必要なら、かゆみ止め（ヒスタミン剤入り）軟膏を塗る。
- ◎保育園では、蚊が嫌がる臭いのアロマスプレーを作って、外遊びの際にはスプレーしています。

②とびひ（伝染性膿痂疹）

- ①あせも・虫刺され、湿疹などの引っかき傷に、細菌感染をおこして発症するものがほとんどです。とびひは浸出液が付着してあちこちに飛んでいく（飛火）ので、早めの受診が必要となります。体調が良ければ、患部をガーゼで覆い登園できますが、病変が広範囲の場合は、主治医と相談してからの登園となります。また、頭や顔などに多く出来てガーゼで覆えない時には、園長と相談の上、登園を控える場合があります。**プールについては、他児に移す可能性があるため、完全に治るまでは禁止となります。**

③水いぼ（伝染性軟属腫）

- ①水いぼは、半年から1年経過すると95%近くが自然治癒するので、治療として摘出するか、経過観察するかは保護者が主治医と相談して決めましょう。プールの時期、**化膿している水いぼがある場合は、プールを禁止します。**



♥看護師からひと言♥

先日、幼児クラスに行ったとき、ちょうど手洗いをしている子供がいました。しっかりと親指 人差し指 中指・・・と丁寧に手洗いをしている姿をみて、すごい！！と思わず嬉しくなっていました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染予防として、『手洗いをしっかりしましょう！！』という事で、みんなが手洗いを施行していると思います。そのおかげで、小児に多い子どもの感染症『手足口病』にかかる子どもがかなり少ないと言われています。手洗いの効果ですよね。

☆保護者の皆様へおねがい☆

子どもの体調等について、自宅で過ごしている時の報告や、病院受診した際の医師からの意見等は、連絡帳やノートだけでなく、**登園した際に対応した職員に必ず口頭でお知らせ**下さい。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、保護者の皆様と、しっかり情報を共有し子ども達の安全を守っていきたく思います。

仕事が休みで保育される方、仕事が外回り等で連絡先が変更になっている方など、緊急連絡先が変更されている場合は、登園時必ずお知らせください。

